

ピアノ調律師より

# オトノトビヲ

音の扉

vol.4

特集 巻頭

あなたの  
ピアノは  
**大丈夫**??

気づいた時にはもう遅い!? ピアノに起こる、こわい症状。



2 **特集** あなたのピアノは大丈夫？  
気づいた時にはもう遅い？ ピアノに起こる、こわ～い症状。



6 **協会の事業**

「12歳のハローワーク」授業紹介

日本ピアノ調律師協会会員／信越支部 米山宏貴

9 **歴史的ピアノ探訪 その3**

日本ピアノ調律師協会／中部支部 伊東基貴

12 **平和の音色「明子さんのピアノ」**

原爆により傷つき 弾き手を失ったピアノ

坂井原 浩

16 **調律師が惹かれた本『奇蹟のピアノ』**

アヴェネル／ハンナ・カルミ 著

郡司すみ 訳 音楽之友社 発行

足立修治

18 **「思わぬ出来事」**

朝比奈隆、大阪フィルとの思い出

田中良司

ピアノのはなし その3

20 **鍵盤の下はどうなっている？**



本誌の内容は（一社）日本ピアノ調律師協会のホームページからご覧いただけます。

日本ピアノ調律師協会

検索

スマホの場合は右記のコードを読み取ってください。



# あなたの ピアノは 大丈夫？

気づいた時にはもう遅い!? ピアノに起こる、こわい症状。

お客様宅に調律でお伺いしている時によくある質問として「知り合いの家のピアノが長いこと調律せずにはあったらかしてあるけど大丈夫かどうか調律師に聞いておいて」や「実家に置いてあるピアノを持ってこようと思うけどまだ使えるでしょうか?」というのを時々聞きます。

ピアノはお手入れをしていれば長持ち

する楽器ですが、長期間放置されていると中が大変な事になっていることもあります。まず音がとても狂っているはずですが。あとは湿気で錆びたり動きが悪くなっていたり、フェルトは羊毛でできていますが衣類につく虫にやられていたり、今では街中では少なくなりましたがネズミが入って部品を食い荒らしていたりと様々な障害が考えられ

ます。

ピアノには定期的な調律、調整が必要です。中の掃除や錆落とし、金属部分の磨きも調律師の仕事の一部です。もし眠っているピアノがあればぜひ定期的な調律・メンテナンスをおすすめします。きちんと調律、調整されたピアノで気持ちよく弾きましょう。

# 見えない所で被害発生!!

症状のほとんどはピアノの内部で起きています!

## ヒメマルカツオブシ虫

幼虫

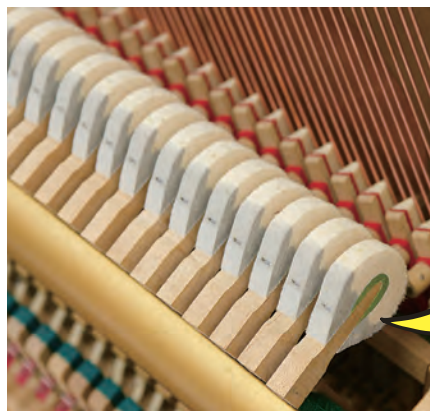


成虫

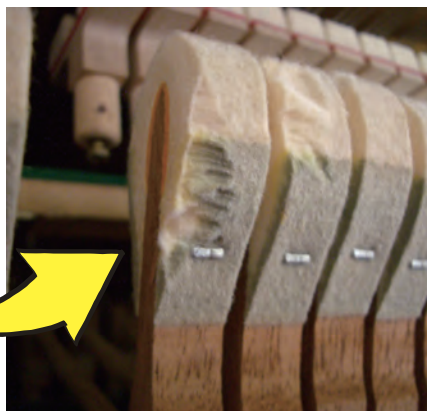


ピアノには外見からは想像もできないほど多くの木材や、フェルト・皮が使用されています。その内ピアノの音を出すために必要不可欠な「ハンマー」にはフェルトが使われています。ハンマーが虫に食べられてしまうと、音はつきり発音しなくなることがあります。

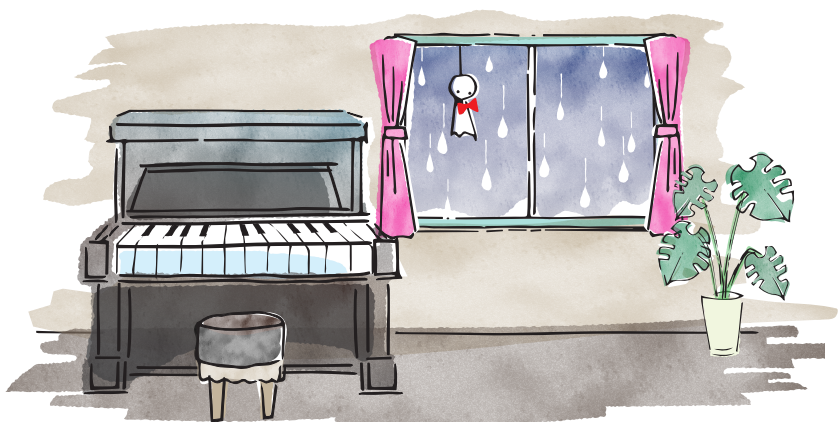
**虫が部品を食い尽くす!**



綺麗な状態のフェルト



虫に食われたフェルト



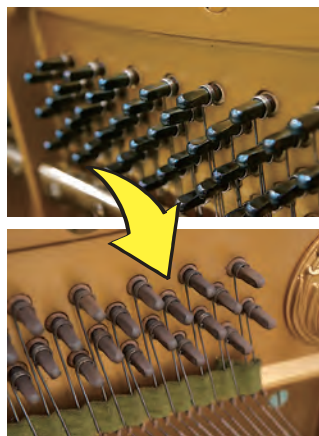
## 湿気が起こす サビに注意!

梅雨の時期は全国的に湿度が高く、ピアノの大敵である湿気には細心の注意が必要です。軽度の錆であれば、調律の際にサビを落として防錆油を塗りますが、錆により完全に化石のような状態となっている弦は張替えが必要になります。日頃から、出来るだけピアノを設置しているお部屋の湿度管理や、結露等を起こさないよう心がけましょう。

### PICK UP!



サビの目安は鍵盤蓋の内側にあるメーカーのロゴをチェックしよう。ここにサビが発生していたら、要注意!



## ネズミがピアノに 巣を作る！

ペダルの隙間から入って来て、鍵盤周辺の木をカジリ、ピアノの部品の中からフェルトや布のテープ類など軟らかい物を食いちぎってかき集め、鍵盤の下にフカフカのベッドを作り、そのベッドで子供を生んでいます。まれにネズミが死骸となるケースもあり、修理には高額な費用が発生します。ピアノメーカーによっては、ネズミの侵入を完全に防ぐ事のできないピアノもあります。



その他にもこんな症状が…

- ・ゴキブリの糞害
- ・外装の傷やシミ、へこみ
- ・ペダルの汚れ etc…

半年〜1年に1度の定期調律で、これらの被害を防ぐことができます。

定期調律をおすすめしている理由は、音程を合わせる「調律」作業だけではなく、虫やネズミ、サビが無いかなどの「点検」作業も行なっているからなのです。ピアノを弾きたいと思った時に、高額な修理費用をかけるためにも定期的な調律・点検を行いましょう。

調律は日本ピアノ調律師協会会員にお任せください！

# 協会の事業

ピアノ調律師協会では毎年全国11支部で「12歳のハローワーク」と「調律の日記念事業」を行っていますが、今号ではその中から信越支部より「12歳のハローワーク」を紹介します。

## 「12歳のハローワーク」授業紹介

日本ピアノ調律師協会会員／信越支部 米山 宏貴



モデルアクション

この企画は小学校5・6年生と中学生1年生位を対象に協会会員が学校に出向き、ピアノ調律の仕事についてレクチャーをする企画です。子供たちが「こういう仕事もあるんだな」とか「将来仕事としてやってみたい」と興味や関心を持つきっかけになる機会を提供するという趣旨です。

学校の総合的な学習の時間に色々な職業について学んだり、職場体験などが行われております。この「12歳のハローワ

ーク」の目玉は、実際に子供たちが調律工具のチューニングハンマーを使用して調律を体験できること、そしてピアノリストも同行してその場で生のピアノ演奏を聴けることです。

ピアノは誰でも知っている楽器にもかかわらず、どの様に音が出ているかなど構造はあまり知られていない様で、この企画は学校担当者から大変喜ばれており、学校側から依頼されることも多くなりました。

## レクチャーの内容

1 ピアノの歴史解説

2 モデルアクションを使用した発音の

仕組みの解説

3 実際のピアノのアクションを用いた

内部の説明

4 ハンマー・弦・響板について

5 仕事の内容

6 調律体験

子供たちと共に、先生方も体験します。

7 ミニコンサート

ピアニストによる曲目解説付きで3  
〜4曲演奏します。

後日学校側から頂く子供たちの感想文を見ると、調律体験とミニコンサートが毎回好感触です。難しい調律作業にも集中してチューニングハンマーを上手にコントロールして取り組んでくれます。調律の最終目的が音楽のためということを理解してもらうには、ミニコンサートは



実際のピアノのアクション

必要不可欠です。この授業がきっかけでコンサートに足を運んだり子供たちの行動にも変化がある様で嬉しい結果が出ておられます。  
また、現代のピアノはクラシック音楽と共に発展、改良されてきたと話したところ、「クラシック音楽って何ですか？」



調律体験

という質問が返ってきました。何年前からピアノ発表会の選曲のからクラシック音楽が減ったことが気になっていました。ピアノ業界が盛り上がるには音楽の元祖というべきクラシック音楽が不可欠だと思います。きちんと調律したピアノで生演奏を体験してもらうと、殆どの子



ミニコンサート

供たちから感動の声を聞く事が出来ます。その質問をした児童もこの授業の後にはクラシック音楽を理解して改めてその素晴らしさを感じたと聞きました。

今の子供たちにクラシック音楽、アコースティックピアノの魅力を伝えていくこ

日本ピアノ調律師協会は、わが国の音楽文化の発展に寄与することを目的として、さまざまな事業を行っています。

4月4日はピアノ調律の日

- 1 ピアノ調律職種国家検定の指定試験機関として厚生労働省より指定され、試験の実施に当たっています。
- 2 4月4日の「ピアノ調律の日」をPRする記念行事として、全国の支部では地元出身の若い音楽家たちによる演奏会を積極的に企画し、次代を担う若手を応援しています。
- 3 「12歳のハローワーク」と題して、小学校の総合学習の時間にピアノ調律師の仕事やピアノの良さを紹介する授業を行っています。
- 4 歴史的なピアノの調査研究と修復活動を行っています。
- 5 新人向けの基礎研修や、ベテランの更なるレベルアップを目指す研修など、さまざまな研修を行っています。
- 6 国際活動を通じた技術交流を行っています。

とが10年、20年後のピアノ業界の繁栄に繋がると確信しております。

残念ながら昨年からコロナ禍でこの企画も回数が減っておりますが、終息後は今まで以上に授業もバージョンアップし、色んな業界と協力してアイデアを出し

合い、ピアノを通して音楽文化の進展に少しでも貢献したいと思っています。

# 歴史的ピアノ探訪 3

伊東基貴

(日本ピアノ調律師協会 / 中部支部)



昨年2020年に、生誕250年を迎えたベートーヴェンは、生涯に32曲のピアノソナタを残し、創作の変遷がピアノという楽器に著しい進化をもたらしたといわれています。

ピアノは1700年代初頭に、イタリアのフィレンツェでバルト

ロメオ・クリストフォリによって考案製作された *gravicembalo col piano e forte* が端緒とされています。すなわち強弱の表現ができるチェンバロといえはいいでしょうか。その後、ヨハン・ゴットフリート・ジルバーマンという製作家とその弟子によって、ドイツとオーストリアを中心としたウィーン式メカニズムと、フランスとイギリスを中心にしたイギリス式メカニズムに大別して発展しました。その時代がベートーヴェンの

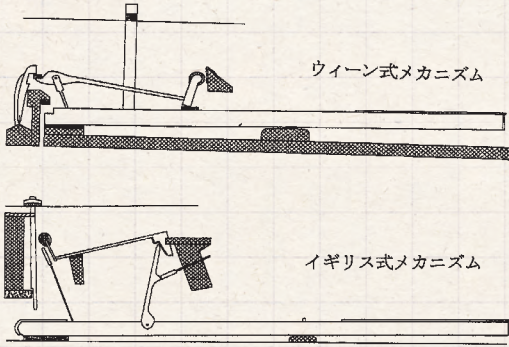


創作時期に重なります。

ベートーヴェンはドイツのボンに生まれ、ウィーンに出て音楽家のキャリアを積みます。最初に使用はじめてピアノは、ウィーン式メカニズムによる、シュタインにはじまりワルターからシュトライヒャーという製作者の系列によるピアノを使用していたといわれています。そこへ、1800年代はじめにイギリス式メカニズムによるピアノが、製作者ジョン・ブロードウッドから

提供され、ピアノソナタ29番「ハンマークラヴィア」の途中から晩年の30、31、32番の創作にそのピアノが用いられたようです。

では、ウィーン式とイギリス式の違いとは。鍵盤を押すと、シーソーの原理で反対側が持ち上がり、それぞれアッセンブリーの連携でハンマーを跳ね上げるアクション、という仕組みでピアノは形成されています。



ウィーン式メカニズム

イギリス式メカニズム

その跳ね上げるハンマーの位置が、ウィーン式は手前から対し、イギリス式は奥のハンマーが鍵盤と平行的に持ち上げられる方式で、現在のグランドピアノは皆この方



式に統一されています。ウィーン式は、構造がシンブルで鍵盤の沈みが浅くタッチ感も軽くて弾きやすさはあったようですが、デリケートな反応の半



川口成彦さんによるデモンストレーション

面、全体のボリューム感と強弱のダイナミックスレンジに欠けることから、淘汰されてしまったのかも知れません。イギリス式は、その後ダブルエスケープメントという進化



を経て、近代から現代にかけての製造が工業生産的に発達したといえます。

しかし、現代において当時のオリジナル様式がピリオド楽器として再評価されはじめて久しくもあります。シヨパン国際ピアノコンクールでは、2018年にシヨパンの時代のピアノ使用による、第一回ピリオド国際ピアノコンクールが開催され、日本人の川口成彦さんが2位の快挙を遂げました。

そのような背景から、今年10月10日に三重県の鈴鹿山脈御在所岳山麓、湯の山温泉の孤野町に「NPO 法人孤野ピアノ歴史館」がオープンしました。主宰者の、岩田光義さんが40年にわたりヨーロッパから収集したコレクションの、観る・触れる・弾く・聴くをコンセプトとした、歴史的ピアノ42台(修復中を含む)を展示。ピアノの歴史を辿りながら、その響きを体感していただくことができます。中でも、1822年製のジョン・ブロードウッドは、ベートーヴェンの使用していたピアノとほぼ同一で、修

復の仕上げも素晴らしい貴重なものと思われれます。他にもロマン派から近代と現代にいたる、貴重なピアノたちにふれていただけるミュージアムで、サロンコンサートやレクチャーの場として、どなたでも会場を使用することが可能です。



1822年製のジョン・ブロードウッド

# 平和の音色 「明子さんのピアノ」

原爆により傷つき 弾き手を失ったピアノ

坂井原 浩



昨年、2020年の夏、広島は被爆から75年が経ちました。その節目に当たる年の8月5日と6日の両日に渡り、広島交響楽団と広島県出身のピアニスト萩原麻未さんにより、藤倉大作曲ピアノ協奏曲「Arlino's Piano」が世界初演されました。

その曲の最後の数分のカデンツァは、ホルのグランドピアノではなく、明子さんのピアノだけで演奏され、あたかも19歳で原爆により亡くなった明子さんが弾いているようでした。

「明子さんのピアノ」と呼ばれるこのアップライトピアノは、アメリカのピアノメーカー「カールボールドウィン社」で1926年（昭和元年）に製造された「エリントン」。同じ年

にロサンゼルスで生まれた河本明子さんと明子さんの母シヅ子さんが弾いていました。

当時、ロサンゼルスで保険会社に勤めていた河本源吉さんが、妻のシヅ子さんが寂しいだろうとピアノを購入し、その年に明子さんは生まれました。明子さんが最初に習ったのはロシア人の先生だったそうです。その後の世界恐慌により世の中に不穏な空気が流れる1933年（明子さん7歳）、一家は日本へ帰国します。

帰国後、広島に住まいを構えた河本さん一家。その後、明子さんは3人のピアノの先生に習い、音楽も勉強も好きな少女へと育っていきました。

1945年（昭和20年）8月6日、広島に原爆が投下。その日、学徒動員で広島の高

中心部(爆心地より800m)にいた女学生  
の明子さんは爆風で車の下に飛ばされま  
した。建物の陰だったため火傷は負うこ  
とはなく、爆心地より約3kmの自宅になん  
かたどり着きます。自宅は高台にあり焼失  
はまぬがれていましたが、爆風により天井  
や壁は崩れ、窓ガラスは吹き飛んでいまし  
た。翌日の夕方、家族の看病もむなく明  
子さんは19歳で帰らぬ人となりました。ピ  
アノは爆風により傷つき、ガラスがつき刺  
さったまま、その後の約60年間、弾き手を  
失うことになりました。



ガラス傷跡

私は、今から18年前の2003年の暮れ  
に、このピアノと出会いました。元教員の  
森下先生(ご自身も被爆され、現在も平和  
活動にご尽力されています)のお宅へ調律  
にお伺いした時、「友人が実家の解体を前に、  
横浜より帰って来て荷物を片付けている。  
先日、行ってみたらアメリカから持って帰っ  
た古いピアノがあり、家と一緒に処分する  
と言っているけれど…」それを聞いて古い  
アメリカ製ピアノに興味があった私は、す  
ぐに連絡を取ってもらって、見に行くこと  
にしました。そのお宅は一見、和風なので  
すが窓は洒落た格子で洋間の天井は高く、  
そこにポツンとピアノが残っていました。  
「このピアノはアメリカから持ち帰り、  
母と姉が弾いていました。姉は原爆で亡く  
なり、その後はあまり弾かれていません。  
ピアノには窓ガラスが刺さったままです。」  
こう話されたのは明子さんの弟の正隆さん  
でした。正隆さんご夫妻から当時のことを  
お聞きして、これは後世に残さなければい  
けないピアノだと思いました。それは、私

の伯父も明子さんと同じように学徒動員で  
被爆し、翌日に亡くなっていたからです。  
そして、私は「これは処分してはいけない  
ピアノです。正隆さんか、ご親族のどなた  
かが保管されるピアノです。」とお話しし  
ました。しかし、お宅の解体が迫っていま  
したので、取り敢えず私が引き取り、行き  
先が決まれば持つて行くことになりました。

その後、一般社団法人HOPPEプロジェ  
クトがこのピアノを譲り受け、コンサート  
で使うことになりました。しかし、このま  
までは演奏することができません。明子さ  
んがたくさん弾いた跡が残るフェルトやク  
ロス。象牙鍵盤のはがれ、弦の断線、鍵盤下  
のクロスは朽ちて鍵盤の高さも深さもバラ  
バラ。アクションを調整するネジ類はさび  
付いて動きません。また、アクションがス  
ムーズに動かないため、音が出ないところ  
も。これはアクションを全て外し、一つ一  
つ不具合を確認しながら直していく必要が  
ありました。

通常ならば、これらの部品を新しいものに交換するでしょう。しかし、今回は時間を要しても、最小限の交換で可能な限り当時の状態を残すことにしました。それは、このピアノが明子さんと時を同じくしてアメリカで生まれて共に歩み、そして明子さんの人生の最期を傷と共に記憶している、明子さんの遺品であると考えたからです。



困難だった修復を終え音を出してみました。すでに長い年月張られている弦は伸びきり、高音は減衰が早いものの中音から低音は温かい音がして、これまで私が知っているボールドウィン社のピアノとは全く違う音色でした。そして被爆60年の2005年8月にH O P Eプロジェクトによるチャリティコンサートが行われました。その後は、このピアノの存在を知った方々からの依頼や、平和学習で幼稚園・学校などへ持ち込んでのコンサートで使ってもらいました。

数年前より国内外の著名なピアニストの方々に弾いていただく機会に恵まれました。弾かれた感想の一部分をご紹介します。

※1(演奏日順)

○マルタ・アルゲリッチ

(2015年8月)

「このピアノはショパンの Water Memory を持っているようね」

明子さんがショパンを好んで弾いて

いたことをよく覚えているということとを「水の記憶」と表現された。



アルゲリッチ試奏

○シャルル・リシャール・アムラン

(2017年2月)

「感情が揺さぶられる体験だった」

○ピーター・ゼルキン

(2017年8月)

「その独特な『声質』は、18、19世紀に作られていた古き良きピアノの音色を偲ばせます。それは歌心に富んだぬくもりのある人間的な声なのです。その『明子さんのピアノ』の『歌声』は私たちを癒し、更に生きていくことへの感謝の念を表現してくれます」



ピーター・ゼルキン

### ○ベンジャミン・フリス

(2018年2月)

「実は演奏中、泣きそうだったよ。それを我慢することが大変だった」と後日談で。

※1 詳細は一般社団法人HOPEプロジェクト「AKIKOS PIANO 明子さんの被爆ピアノ」のホームページをご覧ください。

(<https://www.akikos-piano.com/>)

(録音・動画あり)

一昨年の夏、ピースボートに乗り、被爆ヴァイオリンと共に日本一周をして、各寄港地で音色を聴いてもらいました。そして昨年は被爆75年の節目ということもあり、大変注目を浴びました。藤倉大作曲ピアノ協奏曲第4番「Akiko's Piano」世界初演。また、岩波ブックレットから中村真人著「明子のピアノ」出版、中国新聞による18回に渡る長期連載。どちらも丁寧な取材により、明子さんとピアノのことが詳しく掲載されています。そして、NHK・BSで明子さんの日記に基づいたドキュメンタリードラマ※2も放送されました。

※2 NHK連続テレビ小説で主演をした芳根京子さんが明子さん役

「Akiko's Piano 被爆したピアノが奏でる和音おと」

この近年、こうして広く皆様に「明子さんのピアノ」を知っていただく機会がありました。しかし、明子さんとこのピアノが特別な存在という訳ではありません。原爆によって多くの市民が被爆し、それぞれに苦しい記憶があるからです。その記憶の一つとして、このピアノの音色を聞いた時、ほんの少し広島で起きたことに思いをめぐらせてもらえればと思います。

2020年7月より広島平和記念公園内の被爆建物レストハウスの2Fピアノカフェにて保管、展示しています。この明子さんのピアノを使つてのコンサートも可能です。広島に来られましたら、76年前に起きた出来事を記憶するこの「明子さんのピアノ」に、会いにいらしてください。

写真：一般社団法人HOPEプロジェクト提供

調律師が惹かれた本

# 『奇蹟のピアノ』

アヴネル／ハンナ・カルミ著  
郡司すみ訳 音楽之友社発行

## 足立修治



この本に出逢ったのは、私がちょうど調律師としての道を歩み始めた頃でした。たまの休みに神保町の古本屋さんに行くと、必ず目に留まったのがこの本でした。ところが、その本を手を取っては棚に返し、また手に取っては棚に返し…そんな事が何年か続きました。

というのも、その頃は自分の中での優先順位としてピアノに関する技術書をまず集め勉強しなければということが一番にあったのと、自分の本質的な弱点として小説が苦手というのがありました。

しかし、私は大きな勘違いをしていました。この『奇蹟の…』というタイトルそのものからくるイメージにより、どうせ作り話だろうと決めてかかっていたのです。

時は平成に入り数年経った頃、銀座の有名な楽器店の書籍コーナーに行った時、やっとゆっくりとその本を開き、少し目を通して、ま、疑うより読んでみるかと本を購入したのです。

少し読み進めて、これは実話か？ いや、

作り話だろう、いや、でも本当の話かも：そんな変な気持ちのまま読み進めた記憶があります。

それは何故なのかを分析すると、本の中のキーとなるイタリアの王様や登場人物、つまり、ウムベルト王や「有名なピアノリスト」マッティス・ヤノウスキーという名前を私自身が聞いたことがなかった事や、ソロモン神殿の柱でピアノが造られた云々：千年いや、2千年前？ってどういう事？アップライトピアノは1800年頃に誕生したはずなのに：と、そんなことから作り話なのではという思いがあつたと思うのです。勿論、読み進めていくうちに誤解は解け、これはとんでもない事実だと分かるのです：。

この本の良いところは、まず、全体に美しい心が流れていることではないでしょうか。子供にも、大人にも：。そう、自分が幼稚園生だった頃に教えてもらった大切な事が書かれており、個人的な事ではありませんが共感を呼びました。また逆に、人間の惨

さが語られている部分もあるのですが、そうした面では、理想と現実が如何にかけ離れているのかを思い知らされたりもします。

具体的な事は何もここには書きませんが、芸術家(演奏家さん)が演奏することで音楽を守っていると知らされるし、著者の調律師は、普通では考えられない仕事をする技術者であると同時にとても美しい音楽家であることも知らされます。更に、有名ピアノリストと調律師の興味深い話も散りばめられてますし、そうした意味では、音楽家にとっても調律師にとってもとても価値のある本ではないかと思えます。

ピアノが奇蹟なら、主人公の周囲に起きる音楽により起きる奇蹟にも心を揺り動かされます。そう、筆者は、壮大な旅の中の幾つもの奇蹟、そして、目の前で起きる真実を出来るだけ多くの人々に伝えるために、それこそ必死になってこの本を書いたのではないのでしょうか。



実は、この本の最後のところに、この本の訳者である郡司すみ氏による感想と解説が添えられているのですが、それは、日本人調律師を代表してこの本の著者への感謝と敬意を表しているというだけでなく、7ページにも及ぶその読み応えある内容は、この本に更なる価値をもたらしているように思えます。

残念ながら、この本は今絶版となっております。是非とも再発刊を願う一冊です。

「思わぬ出来事」  
朝比奈隆、大阪フィルとの思い出

田中良司

慶祝台灣光復四十週年紀念特別演出

# 大阪愛樂交響樂團

OSAKA PHILHARMONIC ORCHESTRA

為中華蕭邦音樂基金會籌募基金特別公演

主辦單位：財團法人中華蕭邦音樂基金會  
台灣省政府、高雄市政府  
指導單位：行政院文化建設委員會  
教育部、中央黨部  
協辦單位：台北市立交響樂團



國際牌  
Hi-Fi高級音響組合

Technics

Japan Asia Airways

台湾に駐在していた1985年当時の出来事です。同年9月、秋深まる台湾の各都市を大阪フィルハーモニー交響楽団が巡演しました。朝比奈隆さんとご子息の千足（ちたる）さんが指揮を担当、五都市（順に台中、台南、高雄、基隆、台北）で公演を行いました。その最後の台北公演で朝比奈隆さんが指揮されました。ショパンのピアノ協奏曲が全公演にプログラムされていたので、私もピアノ調律で全日程をご一緒しました。共演のピアニストは藤田梓さん。彼女は大阪音大卒業後、1975年からアメリカでコンサート活動を展開、スタンフォード大学アンドレイ教授とショパン音楽を研究、1984年に帰国後は、台湾でも度々演奏活動をなされ、中華ショパン音楽基金を創設したり、当地の著名なバイオリニ



スト鄧昌国さんと結婚されるなど、台湾音楽界の超有名人となりました。私もその後ピアノリサイタルでは度々ご一緒し、ご夫君とも交流がありました。各コンサート会場はどこも満員盛況であったのは想定内としても、舞台裏で私が特に印象深かったのは、大フィルのバイオリン奏者一人ひとりが舞台袖に備えた電子音でピッチを確かめステージに向かっていく姿で、ピアノピッチへの厳しい要求の意図が伝わって来ました。さらには台湾の聴衆の成長ぶりでした。

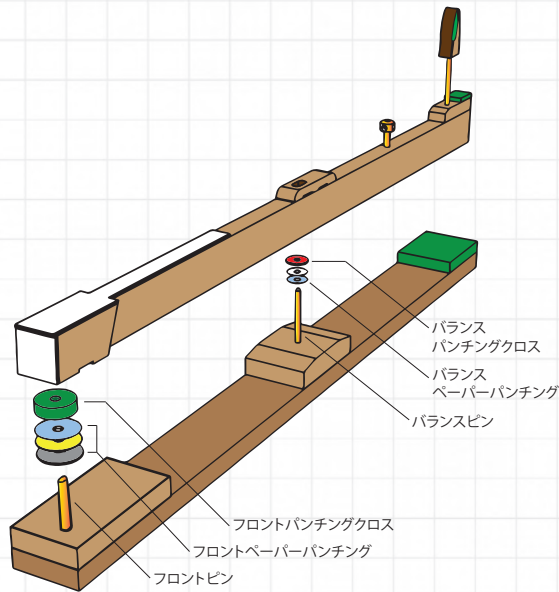
遡ること十数年前、アメリカとの友好交流でニューヨークフィルがズービン・メータと台北公演した際、開演の序曲が流れる中、会場のざわめきが止まず、指揮を終えて舞台裏に戻ったメータがかんしゃくを発する声が目につきましたが、今回の巡演では大フィルの楽員たちは、どのコンサート会場の聴衆の反応にも、とても満足している様子でした。

さて肝心の「思わぬ出来事」です。最終公演の台北「国父記念館」では、最初で最後の朝比奈隆さん指揮の準備が進み、舞台裏にも緊張感が漂ってました。それでも指揮者は楽員たちに囲まれて歓談され、私もお仲間入りの栄に浴して、調律を終えたピアノの脇で各地の公演でのエピソードを楽しんでいると、せわしく朝比奈隆さんが近づいて来て、「おい、指揮棒はどこだ？」と。私はそんな大それた預かりものをした覚えはなく、「いえ、さあ」と浮かぬ返事。開演が間近となり、「ルスランとリュドミラ」の序曲が待つ中、「きみにさっきそこで渡し

ただろ、ピアノの前で」。周囲の楽員たちも心配そうな目つき。けれども覚えのないものはどうしようもない。「どうした、もう時間がないぞ！」と朝比奈先生。楽員たちがやがてステージに出ていく。「あ」と思い、ピアノの大屋根を開ける。すると手前のフレームの上に指揮棒が！先生はここに置いたのだ。談笑中に誰かが大屋根を閉じて、それに気付かなかった。「ありました、先生！」「おお、そら見る」朝比奈隆さんの低い声。眉を寄せて見たこともない表情。指揮棒を手に胸を押さえ、スーツの埃を払ってステージへ。舞台袖越しに響く満場の拍手が救いの神のようでした。最後にピアノニスト藤田梓さんについてひとこと。今年88才になる彼女は、2014年にポーランドから同国の国際的地位向上に貢献した人に贈られる「ベネ・メリート賞」を受賞しました。彼女のシヨパン音楽研究の一区切りでしょうか。

(了)

# 鍵盤の下はどうなっている？



巻頭の「あなたのピアノは大丈夫？」で  
鍵盤の下のちよつとショッキングな写真が  
出ていましたが、毎年きちんと調律をされ  
ているとあのようなことにはなっていない

と思います。私たち調律師の  
仕事にはピアノの掃除も含ま  
れていますからそれなりに手  
入れがされているはずで

ピアノの場合、演奏する時  
の弾き手との接点は鍵盤だけ  
です。今回は鍵盤の構造と、そ  
の鍵盤の下で行う細かい調整  
についてお話しします。

鍵盤を弾くとバランスピン  
を支点として手前が下がり前  
後にシーソーのような動きを  
して奥側が上がりアクション  
を持ち上げます。鍵盤の手前  
の下にはフロントピンがあり下  
がる時のガイドとなり、左右  
のブレをなくします。バラン  
スピンとフロントピンの下には  
パンチングクロスと

いう繊維質の丸い部品がそれぞれあり、クッションと作動音を目立たなくする役目をして  
います。更にその下にペーパーパンチン  
グという薄い紙が入っていて、鍵盤の高さ  
や深さを調整するのに使われます。

鍵盤の高さですが、メーカーやピアノの  
大きさで多少の差はありますが、柵板から  
大体64ミリ〜66ミリくらい。弾いたときに  
沈む深さは約10ミリに調整されています。  
新しいピアノは工場出荷時にきちんと調整  
されていますが、年数が経つと湿度変化や  
使用頻度により少しずつずれることがあり  
ますので、ペーパーパンチングを出し入れ  
して高さ、深さの調整をします。1ミリ以  
下の数種類の紙を使用しますが、薄いもの  
では0.04ミリなんてものもあります。この  
調整でタッチ感や音色が微妙に変わります  
から、私たち調律師はこのような普段は見  
えないところで非常に細かい仕事をして  
いるわけです。



日本ピアノ調律師協会 **オリジナル**

# アンティークピアノ カレンダー

貴重なアンティークピアノの写真を解説付きで掲載。  
美しいピアノと共に過ごす12ヵ月はいかがですか？

## JPTA2022 CALENDER

- ・A4判 カラー 全26ページ(裏表紙のみ 297×240mm)
- ・コイル止め 価格 1部 **1,200円**(税別)

## Amazonにて好評販売中!

JPTA2022カレンダーで検索、または下記のQRを読み取ってください。



国家検定 ピアノ調律技能検定試験 指定試験機関



一般社団法人  
日本ピアノ調律師協会

東京都千代田区外神田2-18-21 楽器会館5F  
TEL 03-3255-3897 FAX 03-3255-9246  
E-mail info@jpta.org https://www.jpta.org/

# オトノビロ

音の扉  
vol.4

令和3年11月30日発行

編集・発行 一般社団法人 日本ピアノ調律師協会

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-18-21 楽器会館 5階

TEL.03-3255-3897 FAX.03-3255-9246 E-mail. info@jpta.org

表紙デザイン 清水敬祐 広報局理事

本文編集・イラスト 株式会社 按可社

## 編集後記

今号より新たに音の扉を担当しました。

新しい形の冊子を模索する中で、アンケートの利用、ミーティング、多くの方の意見を参考にさせて頂きました。表紙デザインを一押し内容も簡素化して、サイズを小さく薄く軽くと配布しやすいようにしました。

調律師としてお客様に伝えたいことをこれからも掲載できればと思います。

発行にあたりご協力いただいた皆様に御礼を申し上げます。

広報局 古屋嘉彦



音の扉のバックナンバーは(一社)日本ピアノ調律師協会のホームページからご覧いただけます。

日本ピアノ調律師協会

検索

スマホの場合は右記のコードを読み取ってください。



# 小さな振動からはじまる 大いなる未来への感動



一般社団法人 日本ピアノ調律師協会  
Japan Piano Technicians Association

HP <http://www.jpta.org> Email [info@jpta.org](mailto:info@jpta.org)